（公社）富山県高等学校安全振興会

会　報

第14号（令和７年12月16日）

〈発行者〉
公益社団法人 富山県高等学校安全振興会
〒930-0018 富山市千歳町１－５－１
富山県教育記念館
TEL　076－432－2810
FAX　076－432－1501

ご　挨　拶

公益社団法人　富山県高等学校安全振興会
理 事 長　西　能　　淳

日ごろより、富山県高等学校安全振興会の諸活動、本県高等学校及び特別支援学校の児童・生徒等の安全、健康を支援する事業にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

本会は、「わが子の安全を願いつつも、お互いの連携のもとに、助け合いを推進していく」趣旨のもと、平成４年に発足、法律の改正に伴って平成26年に公益社団法人に移行いたしました。主に児童・生徒の災害に関する共済金給付事業や安全普及事業を行っております。

令和６年度の給付事業では、総計349件で9,089,289円の給付を実施しており、令和５年度と比較すると件数は22件減りましたが、給付額は約50万円増えています。

事故発生場面は部活動中が最も多く、支払件数の大半を占めています。特に近年は、夏になると猛暑日が続くため、熱中症もさることながら、気象条件が要因となって怪我につながっているケースが少なくないのではないかと考えます。

そこで、今年度、安全普及事業の１つである生徒の安全・健康に関わる機器及び物品等の整備において、「ファン式大型冷凍庫」を本県すべての高等学校及び特別支援学校に寄贈いたしました。

各学校には冷蔵庫はあっても冷凍庫はあまり無く、大量の氷を作ったり、食用品を保存できたりすることから大変重宝がられ、行事や部活動など学校生活の様々な場面で活用されています。

これからも会員の皆様のお役に立てる会としてご期待に添えるよう、役員一同取り組んで参りますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

助　成　事　業

公益社団法人富山県高等学校安全振興会では、健康教育及び健全育成等に関する実践活動（生徒・保護者・教職員向けの講演会、研修会など）に助成金を交付しています。

令和７年度は、11月30日現在で25校が助成事業を実施しています。

〈主な講演会・研修会の例〉

・保健講話「性に関すること」
・特別な支援が必要な生徒の授業支援
・心の安全教育
・スポーツ体験会
・ＰＴＡ学部活動（親子活動）
・ＰＴＡ親子防災研修
・発達障害に関する講演会

富山北部高校：睡眠習慣と心身の健康

となみ野高校：心と体の健康講座

令和7年度定時社員総会について

令和７年度富山県高等学校安全振興会定時社員総会を６月３日（火）タワー111のスカイホールで開催いたしました。

西能淳理事長の挨拶に続き、来賓を代表して富山県教育委員会生涯学習・文化財課の前川秋人課長より祝辞を賜りました。

総会では、令和６年度事業報告、令和７年度事業計画・収支予算書について報告がありました。その後、令和６年度決算(貸借対照表・正味財産増減計算書)、任期満了に伴う後任理事・監事の選任について、原案どおり承認されました。

また、総会後の理事会において、昨年度に引き続き、代表理事（理事長）に西能淳理事が選任されました。

来年度の定時社員総会は、令和８年６月４日（木）に、富山電気ビルディングで開催する予定です。

大型冷凍庫を寄贈

今年８月に、当法人の安全普及事業において、県立高校52校と私立高校９校の計61校に、熱中症対策として「冷凍庫」を寄贈いたしました。この冷凍庫は280Ｌの大容量で、ファン式のため霜がつきにくく機能性に優れています。

９月11日に県庁で贈呈式が行われ、新田八朗富山県知事と、金岡克己私学振興会理事長から、西能淳安全振興会理事長に感謝状が手渡されました。

各校に設置された冷凍庫

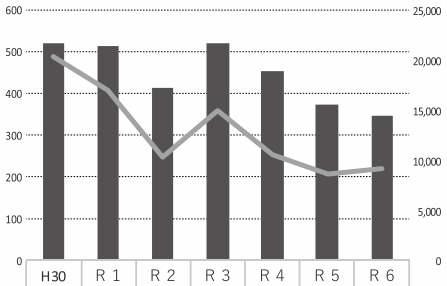
９月の贈呈式にて

共済金の給付について

安全振興会では、独立行政法人日本スポーツ振興センターが災害共済給付を行った場合、死亡共済金、負傷共済金、後遺障害共済金等を支払っております。その中の負傷共済金は、学校管理下における活動中の傷害により、通院または入院した場合に補償し、日本スポーツ振興センターの災害給付金が２万円以上（同一傷害）のものについて、その30％をお支払いしておりますので、該当する場合には、学校を通じてご請求下さい。

平成30年度からの給付件数と給付額は下記のグラフのとおりです。

給付件数と給付額



	H30	R１	R２	R３	R４	R５	R６
件　数	518	511	411	520	451	371	349
給付金額(千円)	20,364	16,958	10,190	15,078	10,524	8,593	9,089

令和6年度共済金給付事業について

令和６年度の共済金給付（新規）の概要（負傷共済金）は以下のとおりでした。

１　学年別

１年（39％）　２年（42％）　３年（19％）

令和５年度と比較すると１年生が約６ポイント増加、３年生が約４ポイント減少しました。

２　場面別

授業中（10％）　部活動中（含試合）（80％）
通学中（４％）　その他（６％）

令和５年度と比較すると、部活動中の怪我は約７ポイント増加、授業中は約４ポイント減少、通学中は約２ポイント減少しました。

３　競技種目別

野球（16％）　バスケットボール（16％）
サッカー（15％）

競技種目別の負傷上位は上記の３競技で、これは令和５年度と同じ傾向にありました。

４　負傷部位別

膝（21％）　足関節（15％）　指（12％）
腰（８％）

負傷部位も令和５年度と同じく上記の４部位が多い傾向にありました。

助成事業報告　高岡高等支援学校「ＰＴＡ親子防災教室」

高岡高等支援学校では、令和６年１月１日の能登半島地震を受け、自然災害から身を守る意識を高めるために、親子で防災について話し合い、今後の防災について考える機会として、「ＰＴＡ親子防災教室」を開催し、続けて「引き渡し訓練」を実施しました。

１　取り組みの概要

10月４日（土）、講師に前ＰＴＡ会長で防災士の宮内清和さんをお招きし、本校体育館でＰＴＡ親子防災教室を実施しました。

親子で参加し、避難所での一人当たりの生活スペースとされる約２畳分のブルーシートを敷き、その狭さを体感しながら、講義を拝聴しました。

今年７月に宮内さん自身が、輪島市門前町にある七尾特別支援学校輪島分校を視察されました。能登半島地震直後から現在までの状況について見聞きされた中で、「通学範囲が広域となっている本校は、被災状況に差が生じる可能性がある。被災直後の心のケアももちろん必要だが、普段の生活に戻る時期も異なるため、新たなストレスを生むと思われる。」と、体験談を交えて教えて頂いたそうです。そこで、「被災状況の違いによる格差からくる心のケアの必要性を感じたことから、ＰＴＡとして、親子ボウリング大会や映画鑑賞などの企画、被災によって失った学用品や制服などの確保を目的としたリユースなどの取り組み等をするのも良いのではないか」と提案されました。

講義後、本校では初めてとなる引き渡し訓練を行いました。安心安全メールの受信と返信の確認から引き渡しまでの手順を確認しながら実施することで、課題も見つけることができました。

２　参加者の感想

・被災状況の違いによる格差からくる心のケアが必要なことが分かった。
・実際にブルーシートに座ってみて、座っているだけでも大変だと分かった。
・防災教室に参加することで防災について考えることができて良かった。
・貴重な話だった。被災者の大変さが伝わった。

３　実施を通して

今回、能登半島地震被災後の輪島市の特別支援学校の状況を知ることで、どのような視点で防災対策をしていけばよいのか示唆していただきました。参加した親子、教員共に能登半島地震を経験したからこそ、日頃の防災意識の大切さを感じることができ、ＰＴＡが取り組むべきことを考える貴重な機会となりました。

令和６年度事業・収支決算報告

《事　　業》

1　社 員 総 会　　定時総会：令和６年６月４日
2　会　　議　　理事会：７回開催
　　令和６年５月７日、６月４日（第２回、第３回）、７月９日（書面）
　　令和７年１月28日、３月４日（書面）、３月18日（書面）
3　調査研究事業　　富山県高等学校安全振興会事務担当者説明会（令和６年４月16日）
　　全国安全互助会連絡協議会総会及び研究大会（令和６年10月10日,11日：青森）
　　全国ＰＴＡ等共済法事務担当者会議（令和６年度は実施せず）
4　安全普及事業　　⑴機器の整備　ＡＥＤバッテリー交換(65個:令和６年７月)、パッド交換(65個:令和７年１月)
　　⑵広 報 事 業　安全振興会会報・手引書の発行及び加入案内の配布、ホームページの随時更新
5　助 成 事 業　　生徒の安全、健康及び健全育成等に関わる実践活動への助成19件
6　給 付 事 業　　共済金支払件数349件（負傷：347件、後遺障害１件、義歯１件）
7　香料給付事業　　給付件数３件

【収支決算】　1　収入の部　（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合　計
事業活動	24,824,749	249,791	4,002,457	29,076,997
基本財産運用収入	0	0	0	0
特定資産運用収入	46,037	0	0	46,037
受入共済掛金	24,773,495	0	0	24,773,495
受入香料掛金	0	249,440	0	249,440
雑　収　入	5,217	351	4,002,457	4,008,025
投資活動	483,000	0	0	483,000
基本財産取崩	0	0	0	0
特定資産取崩	483,000	0	0	483,000
支払備金取崩	0	0	0	0
前期繰越収支差額	1,114,815	831,819	5,325,361	7,271,995
計	26,422,564	1,081,610	9,327,818	36,831,992

2　支出の部　（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合　計
事業活動	18,353,706	174,473	4,858,614	23,386,793
事　業　費	18,353,706	174,473	0	18,528,179
管　理　費	0	0	4,858,614	4,858,614
繰　入　金	0	0	0	0
投資活動	9,053,247	0	0	9,053,247
基本財産取得	0	0	0	0
特定資産取得	9,053,247	0	0	9,053,247
固定資産取得	0	0	0	0
支払備金積立	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0
次期繰越収支差額	▲ 984,389	907,137	4,469,204	4,391,952
計	26,422,564	1,081,610	9,327,818	36,831,992

令和７年度事業・収支予算計画

《事　　業》

1　社 員 総 会　　定時総会：令和７年６月３日
2　会　　議　　理事会：４回開催
　　令和７年５月７日、６月３日（第２回、第３回）、令和８年１月27日
3　調査研究事業　　富山県高等学校安全振興会事務担当者説明会（令和７年４月15日）
　　全国安全互助会連絡協議会総会及び研究大会（令和７年11月：沖縄）
　　全国ＰＴＡ等共済法事務担当者会議
4　安全普及事業　　⑴機器の整備　生徒の安全、健康に関わる機器及び物品等の整備
　　⑵広 報 事 業　安全振興会会報・手引書の発行及び加入案内の配布、ホームページの随時更新
5　助 成 事 業　　生徒の安全、健康及び健全育成等に関わる実践活動への助成
6　給 付 事 業　　共済金給付

【収支予算】　1　収入の部　（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合　計
事業活動	24,809,015	249,470	4,000,200	29,058,685
基本財産運用収入	0	0	0	0
特定資産運用収入	5,000	0	0	5,000
受入共済掛金	24,803,015	0	0	24,803,015
受入香料掛金	0	249,420	0	249,420
雑　収　入	1,000	50	4,000,200	4,001,250
繰　入　金	0	0	0	0
投資活動	11,000,000	0	0	11,000,000
基本財産取崩	0	0	0	0
特定資産取崩	0	0	0	0
支払備金取崩	11,000,000	0	0	11,000,000
前期繰越収支差額	▲ 984,389	907,137	4,469,204	4,391,952
計	34,824,626	1,156,607	8,469,404	44,450,637

2　支出の部　（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合　計
事業活動	34,731,475	293,175	6,122,500	41,147,150
事　業　費	34,731,475	293,175	0	35,024,650
管　理　費	0	0	6,122,500	6,122,500
繰　入　金	0	0	0	0
投資活動	11,000,000	0	0	11,000,000
基本財産取得	0	0	0	0
特定資産取得	0	0	0	0
固定資産取得	0	0	0	0
支払備金積立	11,000,000	0	0	11,000,000
予備費	100,000	0	0	100,000
次期繰越収支差額	▲11,006,849	863,432	2,346,904	▲7,796,513
計	34,824,626	1,156,607	8,469,404	44,450,637

《役　　員》

令和７年度理事・監事

○理事（９名）
　西能　　淳（理事長）　　中村　謙作（常務理事）
　山﨑　秀明　　中村　　賢　　松田　英昭　　瀧根　康弘　　田中　宏育
　牧野裕一郎　　関口　正矩
○監事（２名）
　山本　俊之　　武田　勇人

令和７年度審査委員会委員

　福谷　麻美　　磯原　正浩　　岡田　　満　　番留　幸雄　　濱元　克吉
　篁　　美佳　　立浪　真美　　前川　秋人　　本江　孝一

編集後記

今年度より、当法人の業務を担当させていただくことになりました。

子ども達の安全・安心、健康、健全育成のために、今後も尽力して参りますので、皆様のご理解・ご協力をどうかよろしくお願いいたします。

（事務局長　中村　謙作）